

ホームページもご覧ください
http://rehabili.godream.ne.jp/

シンポジウム 16:20~17:45

テーマ「地域包括ケアシステムとリハビリテーション」

【シンポジスト】

1. 静岡県健康福祉部 長寿政策課 加藤 克寿 先生
2. 静岡県医師会 岡 慎一郎 先生
3. 静岡市葵区服織地域包括支援センター 稲葉 紀和 先生
4. 中伊豆リハビリテーションセンター 服部 浩司 先生

指定発言者 小嶋 康則

司会: 静岡圏域地域リハビリテーション広域支援センター 熊谷 範夫

【概要】

目的: 地域包括ケアシステムの構築が進められている中、リハビリテーションの専門職は、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取り組みを地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援する立場にあることが示唆されている。

今回、具体的にどのような取り組みが望まれているのか等の意見を、行政の立場、医師の立場、地域包括支援センターの立場、地域ケア会議の参加者の立場から発表してもらい、フロアとの討議により、これからの時代に望まれる地域リハビリテーションの姿を共有する機会をつくりたい。

静岡リハビリテーション懇話会にご参加の皆様へ

【参加者の皆様へ】

参加受付: 1階ロビー 12:00~ (演者受付は11:30~)

- ① 「参加受付表」に必要事項をお書き添えの上、「会員受付窓口」または「一般受付窓口」においでください。「団体別納」の皆様は、所属施設にご確認の上、必ず「団体受付」にお越しください。
- ③ いずれの場合にも参加費のお支払いと引き換えにネームカードとネームホルダーをお渡しいたしますので、ご着用ください。※参加費は一般3000円、会員2000円、学生1000円です。
- ④ 交流会 18:00 ~ 19:00 にご参加の方はお申し出ください。※参加費は1000円で、軽食付です。

年会費受付:

- ① 参加受付と同時に平成28年度および29年度の「年会費受付」を行っています。
- ② 「一般」でおいでになられた方も、年会費1000円をお支払いいただくと、その場で「会員」になることができ、参加費3000円が2000円になりますので、ご利用ください。(年2回開催されますのでお得です)

リハビリテーションに関連するすべての職種の皆様へ

＜静岡リハビリテーション懇話会会員を募集中です＞

1. 参加資格 リハビリテーション・医療・歯科医療・薬剤・栄養・福祉・介護などの分野に従事している方ならどなたでも。※会員特典 演題発表ができます。その他情報配布、参加費割引など。
2. 申込方法 ①ホームページの申込フォームに必要事項(氏名・住所・施設名・所属・職種)を入力して送信。
②必要事項をE-mailで送信。E-mailアドレス: areanetcom@gmail.com
③事務局にFAX。
3. お問い合わせ TEL:054-237-9625 FAX:054-237-5069 E-mail: areanetcom@gmail.com

◎静岡リハビリテーション懇話会は、「日本作業療法士協会」「日本理学療法士協会」生涯教育制度単位付与対象学会・研修会に認定されています。【作業療法士会】参加:2ポイント 発表:2ポイント 講師:2ポイント 座長:士会裁量で1ポイント(但し、1年間に士会裁量は2ポイントまで)および社会貢献活動のひとつとして認可【理学療法士会】<専門・認定理学療法士ポイント>学会参加:10ポイント 発表:5ポイント<新人教育プログラム> 症例発表 C-6 「日本医師会」ならびに「日本リハビリテーション医学会」専門医・認定臨床医生涯教育基準細則に基づく単位は今回はありません。

=静岡リハビリテーション合同学会=

第58回 静岡リハビリテーション懇話会

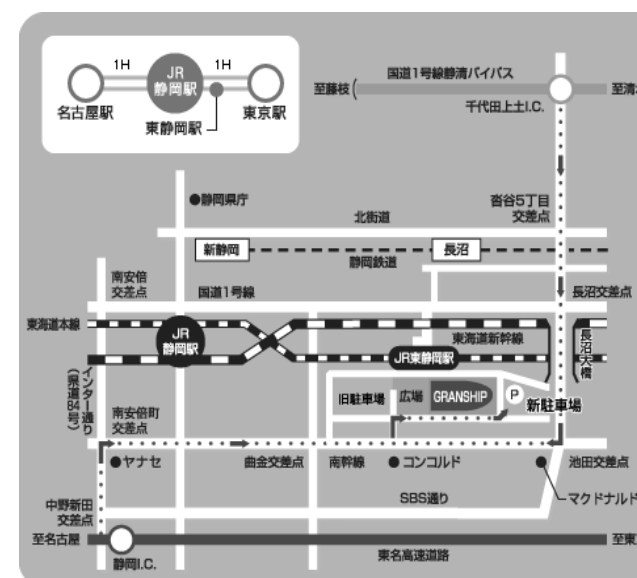
日時: 平成29年9月9日(土) 12:50より 受付開始 12:00

会場: グランシップ6階 交流ホール・展示ホール TEL:054-203-5710
静岡県静岡市駿河区池田7-9-4 (東静岡駅徒歩8分)

世話人: 小嶋康則 静岡リハビリテーション病院 院長 医師)

責任者: 小嶋康則 静岡リハビリテーション懇話会中部担当副会長

シンポジウム:「地域包括ケアシステムとリハビリテーション」



第58回静岡リハビリテーション懇話会概要

主催	静岡リハビリテーション懇話会
共催	静岡県作業療法士会 静岡県理学療法士会 静岡県看護協会
会長	望月 達夫 (静岡医療福祉センター)
世話人	小嶋 康則 (静岡リハビリテーション病院)
責任者	小嶋 康則 (静岡リハビリテーション懇話会中部副会長)
事務局長	熊谷 範夫 (静岡リハビリテーション病院)
後援	静岡リハビリテーション医学会 静岡県歯科医師会 静岡県 静岡県社会福祉協議会 静岡県医師会

一般演題 セッションA 交流ホール

A-I 13:00~13:50 栄養・運営 座長: 市川 みさ江 総看護師長 静岡リハビリテーション病院

A-I-1	当院のNST・リハビリテーション栄養チームの一症例(NSTを中心に)	中山 澄乃	管理栄養士	静岡リハビリテーション病院
A-I-2	回復期リハビリテーション病棟でのリハビリテーション栄養サポートチーム(リハ栄養)の役割～PTの立場から、サルコペニア患者の自宅退院に至るまで～	荒井 陽子	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
A-I-3	当院におけるリハビコーディネーターの活動と今後の展望	山本 尚路	事務	浜松市リハビリテーション病院
A-I-4	リハビリテーション科が行っているトランスファー研修について～アンケート調査の結果から～	中川 一美	理学療法士	静岡富沢病院
A-I-5	看護補助者間のコミュニケーションの現状と考察	望月 美佳	看護補助者	静岡富沢病院

A-II 14:00~15:00 装具連携と住宅支援 座長: 小林 晃子 作業療法士 城西神経内科クリニック

A-II-1	低酸素脳症患者の在宅支援 退院調整の事例を通して	永井 千賀	看護師	静岡リハビリテーション病院
A-II-2	回復期リハビリテーション病棟における退院支援にむけた取り組み	清水 真人	作業療法士	すずかけヘルスケアホスピタル
A-II-3	暮らしと繋がるショートステイの個別機能訓練	佐野 貴之	生活相談員	晃の園
A-II-4	生活期の装具難民 減らすため	馬場 幸治	義肢装具士	東名ブレース株式会社
A-II-5	静岡圏地域リハビリテーション広域支援センター事業 「多職種合同勉強会～下肢装具療法についての情報交換会～」を開催してみえた課題	石野 泰央	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
A-II-6	脳卒中片麻痺者の下肢装具に関する多職種の認識調査	田中 幸平	理学療法士	静岡リハビリテーション病院

A-III 15:10~16:10 地域包括ケア 座長: 清水 言行 医師 静岡リハビリテーション病院

A-III-1	栄養サポートを考慮した地域医療介護連携～ケア・カフェみず:在宅での薬剤投与および栄養管理上の問題点	坂元 隆一	医師	静岡市立清水病院
A-III-2	家族向け失語症交流会の報告～アンケートから見えてきたこと	角田 潤	言語聴覚士	静岡県言語聴覚士会地域リハビリテーション作業部会
A-III-3	中山間地域における在宅医療・介護連携の取り組み紹介	河村 美保	保健師	静岡市葵区薬科地域包括支援センター
A-III-4	小圏域における在宅医療推進モデル事業	小黑 達也	介護支援専門員	ラポーレ駿河居宅介護支援事業所
A-III-5	住民主体の通いの場の立ち上げ支援～袋井市浅羽地域包括支援センター『しぞ～かでん伝体操』の実践報告	山崎 竜弥	作業療法士	浅羽地域包括支援センター
A-III-6	藤枝市一般介護予防事業の充実に向け、行政・各地域包括支援センターとの関わり	小原 智永	理学療法士	聖稜リハビリテーション病院

一般演題 セッションB 展示ホール

B-I 13:00~13:50 研究 座長: 澤野 公一 理学療法士 静岡市立清水病院

B-I-1	自動車運転再開可能と判定された脳卒中左片麻痺者の運転状況による注視特性	田中 幸平	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
B-I-2	亜急性期病院でのICIDH再考～医学モデルでのリハビリテーションの実践～	串田 雄一郎	作業療法士	静岡リハビリテーション病院
B-I-3	重心動揺リアルタイムフィードバック装置を用いた立位姿勢への介入効果	長橋 和美	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
B-I-4	大腿骨頸部内側骨折患者に対する重心動揺リアルタイムフィードバックを用いた介入効果	大畑 桃子	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
B-I-5	左内頸動脈塞栓症により右片麻痺を呈した症例における理学療法施行前後の比較～3軸加速度計を用いた歩容評価～	野崎 奨	理学療法士	浜松市リハビリテーション病院

B-II 14:00~15:00 治療(生活) 座長: 徳永 治美 言語聴覚士 静岡リハビリテーション病院

B-II-1	日常生活における麻痺側上肢の使用頻度が向上し、実用手の獲得に至った症例	作田 奈央	作業療法士	遠州病院
B-II-2	好きな漫画を好きな時間に読むために移乗動作に介入した一例	岸田 弥依	作業療法士	静岡リハビリテーション病院
B-II-3	右被殻出血により高次脳機能障害を呈した症例の復職の評価～漫画家アシスタントへの復職に向けて～	中島 崇	言語聴覚士	静岡リハビリテーション病院
B-II-4	重度記憶障害を呈した症例に対する代償的手段の獲得と他職種連携	窪田 沙織	作業療法士	静岡リハビリテーション病院
B-II-5	全盲で脳梗塞を発症した事例に対する生活動作への介入	鈴木 友美	作業療法士	中伊豆リハビリテーションセンター
B-II-6	第12胸椎圧迫骨折を呈し、環境面と機能面にアプローチした事でADL向上がみられた一例	土屋 直樹	理学療法士	静岡リハビリテーション病院

B-III 15:10~16:10 治療(機能) 座長: 篠原 宏幸 理学療法士 静岡市立静岡病院

B-III-1	間欠性跛行を呈した腰部脊柱管狭窄症の股関節伸展可動域に着目して	林 浩二	理学療法士	松浦整形外科
B-III-2	慢性期脳卒中症例に対して電気刺激を行い、歩行速度と歩行率増加を認めた症例	清水 咲	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
B-III-3	めまい症状によるバランス障害を呈した橋出血症例の理学療法	武 昂樹	理学療法士	浜松市リハビリテーション病院
B-III-4	ペダリングが足部機能に与える効果	柏木 孝文	理学療法士	リハビリテーション中伊豆温泉病院
B-III-5	転倒に対する恐怖感より歩行獲得に難渋した一例	加藤 紗代	理学療法士	静岡リハビリテーション病院
B-III-6	膝関節の疼痛により趣味である鳴子踊りへの参加が困難になった為、足底板を作成し除痛を図った症例	遠近 史直	理学療法士	静岡リウマチ整形外科リハビリ病院